

# 産業厚生 常任委員会

●任期 2年  
●委員 8人

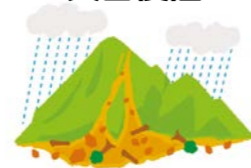
市民生活部、福祉保健部、福祉事務所、産業部、土木建築部、企業局  
および農業委員会の所管に関する事務



寛本委員 美濃委員 沖元委員 平川副委員長 沖委員長 吉野委員 長坂委員 上本委員

## 令和4年度の主な調査項目

### 災害復旧



- ・**現状** 平成30年豪雨災害以降、市内では毎年のように大雨による災害が発生している。平成30年豪雨災害から4年経過するが、三高地区の木下川沿川の災害復旧工事が完了せず、復旧対応が遅れている。
- ・**課題** 平成30年災害の復旧が完了する前に、さらなる災害に見舞われており、今年も出水期を前に周辺住民は不安を募らせている。災害復旧工事をいかに早く対応するかが課題である。

### 有害鳥獣対策



- ・**現状** 市内一円で、イノシシ等による甚大な被害に悩まされている。田畑のほか、公園や民家の庭に至るまでが被害に見舞われている。
- ・**課題** 捕獲したイノシシの処理方法が課題。埋設処理、焼却処理、食肉加工処理のうち、いずれかを、あるいは複数を選ぶ場合、その処理施設をどこに設け、誰が処理するのかが課題。食肉利活用を進める場合は、安全性の確保や肉の安定供給、販路確保等の課題もある。

### ごみ問題



- ・**現状** 山林のほか、ごみステーションへの不法投棄に周辺住民は悩まされている。また、わが市は海に囲まれ、海岸漂着ごみは切り離せない問題であり、特に海岸漂着ごみが流入する河川に隣接して暮らす住民の生活環境を守るために清掃活動の継続が必要な状況である。
- ・**課題** 生活ごみは私たちが暮らす中で必ず出るが、自然や環境を守るための環境美化、ごみの資源化への意識啓発などが必要である。

### 基盤整備事業



- ・**現状** 「ロケーションのすばらしい沖美町沖地区でレモン栽培をしたい」との農業法人からの申し入れを契機として、沖地区で農地集積を進めている。
- ・**課題** 企業参入によるレモン栽培で、遊休農地の解消や農業用水の利活用が図られるなどメリットがある一方で、江田島レモンのブランド化やレモン栽培を通じた地域全体の活性化等が課題としてある。

## 現地調査

令和4年5月11日、災害復旧の進捗状況を確認するため、土木建築部建設課から災害復旧の現状について説明を受け、平成30年豪雨災害の復旧工事がいまだに完了していない三高地区木下川沿川と昨年度末に復旧工事が完了した岸根入口付近の市道美能21号線の現地調査を行いました。

## 木下川沿川について



工事が完了していない箇所

平成30年豪雨災害の木下川沿川災害復旧工事箇所は38カ所あるが、完成しているのは18カ所で、いまだに20カ所が工事を完了していない状況である。

この状況に加え、令和3年にも木下川では豪雨による災害が発生し、新たな災害箇所が17カ所発生している。この令和3年に発生した災害の復旧工事はいまだに手がつけられていない状況である。

## 市道美能21号線について

平成30年豪雨災害による岸根地区市道の災害復旧工事は7カ所あったが、令和3年度末に全て完了した。

岸根入口付近では、施工期間が令和元年6月4日から令和4年3月31日、契約金額7420万3800円(税込)という大規模な復旧工事が完了している。



工事完了箇所

## 委員会の意見

現地調査を終え、木下川の平成30年豪雨災害の被害の大きさと周辺住民がいまだに安心できる生活環境ではない状況を改めて確認をした。平成30年豪雨災害の復旧工事が4年を経過するのに完成していないが、国の補助は発災年を含め5年が期限であり、補助を受けるには今年度が最終年度である。工事発注後の工程管理も行政の責務であることから、受注業者への指導対応の強化を図りたい。